



2024年7月25日

各位

会社名 株式会社サンオータス
代表者名 代表取締役 北野 俊
(コード番号:7623 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 久米 健夫
電話 045-473-1211

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は本日開催の取締役会において、資本コストや資本収益性について現状を評価・分析し、改善に向けての目標・取組み方針について決議いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 主旨

資本コストを的確に把握し、収益力・資本効率等に関する目標を設定し、事業ポートフォリオの見直し、成長部門への投資・設備投資・人的資本への投資を含む経営資源の配分について具体的に何を実行していくのかを投資者・株主に分かりやすく提示し、毎年進捗状況を分析してまいります。

2. 現状評価・分析

(2024年4月末の財務数値、株価を基準に算出)

資本収益性		資本コスト		スプレッド	市場評価	
ROE	8.0%	株主資本コスト	8.3%	▲0.3%	PBR	0.6倍

(2024年6月17日公表「2024年4月期決算短信」における2025年4月期の業績予想を基に算出)

資本収益性		資本コスト		スプレッド
ROE	9.4%	株主資本コスト	8.3%	1.1%

2024年4月末現在のエクイティ・スプレッド(ROE-株主資本コスト)は▲0.3%ですが、2025年4月期の業績予想を基にエクイティ・スプレッドを算出しますと1.1%程度を確保しつつも改善の余地があるものと把握しております。

また、PBRも2022年4月末時点での0.5倍から2023年4月末時点では0.7倍まで改善しましたが、2024年4月末時点では0.6倍と、1.0倍未満の水準です。

3. 改善に向けた方針・目標

上記の現状分析を踏まえ、株主資本コストや株価を意識した経営を通して、財務健全性を確保しつつ、重点分野への積極的な投資や株主還元の向上等により、持続可能な成長と中長期的な企業価値の向上の実現を追求してまいります。

既に中期経営計画にてお示しの通り、同計画終了年度の2025年4月末にROE8.0%以上を維持していくとともに、市場評価としてのPBR1倍以上を目指してまいります。

4. 改善に向けた具体的な取組み

(1) 利益創出能力の強化

中期経営計画の重点施策実行

- ・既存基盤事業の強化拡大(S S^(注)等店舗数の拡大)
- ・新エネルギーへの取組み(EV車両の需要状況を見ながらの投資)
- ・成長戦略事業のモビリティサービスの展開(同サービスの需要状況を見ながらの投資)

(注) S S : Service Station

- (2) 財務戦略・資本戦略の強化
 - ・総還元性向 30%を目標
 - ・政策保有株の縮減検討（政策保有株売却資金の一部を株主還元原資への充当検討）
 - ・不動産資産の有効活用
 - ・持続可能な成長を支えるための人的資本への投資

- (3) I R活動の強化
 - ・個人投資家向け会社説明会の継続実施
 - ・株主アンケートの定期的な実施
 - ・決算説明資料や当社ホームページでの情報刷新

- (4) 健全なインセンティブ促進
 - ・取締役報酬体系の見直し（業績連動報酬の導入・株式報酬制度の導入等）
 - ・役員報酬算出の指標としてのROE・株主資本コスト・企業価値の改善事項の採用

以上